

トピックス

PRTRシステム

クボタシステム開発株式会社の取組み
 当社のIT関連会社であるクボタシステム開発(株)は、PRTR法に対処するシステムを開発しました。クボタではこのシステムに則ってPRTRの管理システムを構築します。



PCB使用電気機器の管理状況

PCB使用電気機器の管理については、今後も厳重な保管を継続すると共に新たに施行されたPCB処理特別措置法(2001.7)に対応し、低圧機器保有数量の適正把握、使用中の機器について2005年度までに全廃し、2010年度までに無害化处理を完了します。

	使用中	保管	合計
高圧機器	171台	576台	747台



使用製品添付ラベル



保管庫



保管容器内部

地下水汚染管理状況

有機塩素系化合物は二つの工場で使用していますが、その使用工場の地下水は環境基準値をクリアしており問題はありません。

筑波工場については2001年度中に全廃する予定です。浪速分工場については都市部に位置しており、消防法上の関係で代替化が困難であります。管理の強化を進めるとともに全廃に向け努めています。



観測井戸

事業所名	使用物質名	使用期間	年間使用量(2000年度)	地下水測定値	環境基準値
筑波	トリクロロエチレン	1993～2000	2.6トン	不検出(< 0.0001mg/ℓ)	0.03mg/ℓ
浪速	トリクロロエチレン	1993～2000	11.3トン	不検出(< 0.002mg/ℓ)	0.03mg/ℓ

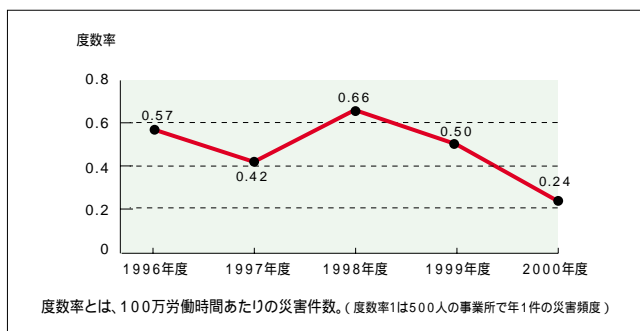
安全衛生管理

従業員の安全衛生の確保は企業活動を行う上で、必要不可欠な社会的責務です。

当社は、「安全最優先」の理念の下、「人命尊重」の観点から法とルールを遵守した安全衛生活動に取り組んでおります。

当社の安全衛生管理は、中央安全衛生管理と事業所安全衛生管理に分け1973年度からスタートした5カ年毎の「長期災害減少計画」と年度毎の「全社安全衛生指針」「事業所安全衛生指針」に基づいて推進しています。その活動は、「法律を

事業所の休業災害度数率の推移



守る”から“安全配慮”へのレベルアップ」、「災害ゼロ”から“危険ゼロ”へのステップアップ」を目指した、「リスクアセスメント」と「設備の本質安全化」を基本としています。各事業所での安全衛生管理活動の強化を図ると共に年間3回、定例の中央安全衛生パトロールを実施し、安全衛生管理の実態把握とレベルアップの指導・支援に努めています。

OHSAS18001認証取得

2000年12月筑波工場が当社で初めて労働安全衛生マネジメント規格であるOHSAS(Occupational Health and Safety Assessment Series) 18001を認証取得しました。今後もさらに他事業所へ水平展開し、職場にひそむ危険源を低減し、「働く人にやさしい」工場づくりに努めます。



リスクアセスメントとは

ISO14001における「環境側面の特定」が、OHSAS18001では「リスクアセスメント」に相当します。危険源を抽出して、危険の度合いを評価(数値化)し、対策することで災害につながる可能性を低減する手法です。

